

企画展 中村征夫写真展 軌跡 -人・地球・出会い-

4月18日〔土〕-7月5日〔日〕 観覧無料



《ヨコスジカジカ》北海道・羅臼 当館蔵

秋田県潟上市出身の水中写真家・中村征夫の写真展。中村は19歳のとき神奈川県真鶴岬で水中写真を撮るダイバーに出会い、独学で水中写真をはじめました。東京湾のヘドロの海や諫早湾の干拓など、環境問題を写真として記録に残すなど「海の報道写真家」としても活躍。世界の海へ潜り、40年以上に渡り多くの海の生物を撮影し続けてきました。その軌跡を厳選し、約250点を展覧します。

■学芸員によるギャラリートーク

特別展 ミュシャ展 -アール・ヌーヴォーの華-

7月11日〔土〕-9月13日〔日〕

アルフォンス・ミュシャ(1860-1939)は、19世紀末のヨーロッパに起こった芸術様式「アール・ヌーヴォー」の代表的作家です。ミュシャの描く、流線形の植物模様で飾られた女性像は「ミュシャ・スタイル」と呼ばれ、今なお多くの人々を魅了しています。本展では、ミュシャが大女優サラ・ベルナルを描き、一躍脚光を浴びるきっかけとなった舞台ポスター《ジスモンダ》をはじめ、装飾パネルや芸術誌の表紙など約450点を展示し、ミュシャの世界観を広くご紹介します。



《夢想 シャンブノア》1898年 ©OGATA コレクション

■スペシャルトーク ■ギャラリートーク

特別展 秋田蘭画展 (仮称)

9月19日〔土〕-11月15日〔日〕

秋田の藩主・藩士らの手により制作された「秋田蘭画」。その誕生は、銅山調査に秋田を訪れていた平賀源内と、秋田蘭画の中心人物・小田野直武(1749-1780)との出会いが端緒となっています。直武の没後240年という節目の年に、この秋田という土地であらためて周辺資料を探り、その流れをたどるとともに、気品あふれる秋田蘭画の世界をご紹介します。



小田野直武《不忍池図》江戸時代・1770年代 当館蔵

※会期中、展示替があります。

■記念講演会(予定) ■ギャラリートーク

特別展 ARTS&ROUTES -あわいをたどる旅-

11月28日〔土〕-2021年3月7日〔日〕 (予定)

江戸時代後期に東北全土を歩き、旅の中で様々な土地に逗留して文化習俗、風土、宗教や儀式、人々の生活の様子などを記録し続けた菅江真澄。約200年前に真澄が残した記録の中にある創造性に着目し、その旅の軌跡をたどるプロジェクトが始まりました。本展は、様々な媒体により表現される芸術自体が、多様な領域のあわい(間)にあるものということに改めて意識した上で、「旅と表現」をひとつの主題とするものです。秋田公立美術大学が取り組んできたプロジェクトをいかに展覧会という形式で、美術館という場において定着させるか。秋田県立近代美術館との連携により、出来事や時間など、かたちをもたないものを展覧会へと描き出す新たな試みです。

■関連講座 ■ギャラリートーク ■ワークショップ(予定)

特別展 大野源二郎写真展

6階展示室

10月16日〔金〕-2021年2月7日〔日〕



《筏小学校》(横手市・山内) 1989(平元) 当館蔵

本県出身のアマチュアカメラマン・大野源二郎(1924年、仙北郡中仙町生まれ)の写真展。大野は高校で教鞭を執るかたわら、長年にわたって郷土秋田を撮影しており、その作品はカメラ毎日誌でのシリーズ「農婦」連載(1964年)など、数々のカメラ誌にも掲載されました。本展では、昭和26~50年にかけて撮影された農村風景「土恋いのうた」と、退職後に撮影した、今後その姿が見られなくなっていくであろう校舎を撮影した「学び舎」を前・後期で作品を入れ替えてご紹介します。

※会期中の12/3④~4④は展示替のため入場できません。

■ギャラリートーク

企画展 響きあう個性 -福田豊四郎とゆかりの日本画家たち-

2021年3月13日〔土〕-4月18日〔日〕 観覧無料

秋田県小坂町に生まれた福田豊四郎は、26歳の若さで帝展において特選を受賞、その後多くの人々と関わりながら新しい日本画の創造に邁進しました。本展では当館の所蔵品から、豊四郎、そしてゆかりの日本画家たちの作品を展示し、そのつながりをご紹介します。



福田豊四郎《海》1938(昭13) 当館蔵

■ギャラリートーク

出前美術展

〔能代エナジウムパーク〕7/7〔火〕-7/20〔月〕

当館が所蔵している作品を厳選して展示します。

出前美術展

〔能代市立浄城南小学校〕11/7〔土〕-11/11〔水〕

能代市との共催による展覧会です。当館が所蔵している作品を厳選して展示します。

ネットワーク事業「山岳の美・水辺の美」

〔秋田県立図書館〕12/12〔土〕-1/26〔火〕

県立図書館との共催による展覧会です。当館の所蔵品を中心に図書館の書籍等もあわせて展示します。

2020コレクション展

当館の所蔵品を3期に分けてご紹介します。日本画家・平福穂庵、平福穂、福田豊四郎ら秋田ゆかりの作品をご鑑賞ください。各期間中、担当学芸員によるギャラリートークを予定しています。詳しくはHPをご確認ください。※2020年度はコレクション展での秋田蘭画の展示はありません。

第1期

4月11日〔土〕-7月12日〔日〕

ファッション・アワード2020

-「装い」の表現-

第2期

7月15日〔水〕-10月11日〔日〕

19世紀末!!

-ミュシャの時代の作家たち-(仮)

第3期

2月10日〔水〕-4月11日〔日〕

豊四郎の感覚を追い(仮)

つる

申込受付は各教室開催日の
40日前からです。

きっずあーと

- **びじゅつかんでローラー遊び**
8月2日(日) <午前・午後>
講師 当館学芸主事
- **つちねんどでドロンコアート**
9月6日(日) <午前>
講師 当館学芸主事



みんなの教室

- **出発進行！木の列車**
7月26日(日)
講師 当館学芸主事
- **楽しいな！版画でカレンダー**
12月6日(日)
講師 当館学芸主事



美術館教室

- **色鉛筆アートの世界**
5月9日(土)・10日(日) <各日>
講師 野崎文隆氏(ブランディングディレクター)
- **写真教室 暗室でプリントしよう！**
6月7日(日)
講師 草薙裕氏(秋田公立美術大学 大学院助手)
- **日本画教室「植物を描く3」**
11月14日(土)・15日(日) <全2回>
講師 山田美知男氏(画家 日本美術院友)



しる

美術館では美術に関する講座、ギャラリートークを開催しています。
美術館ホームページ、展覧会チラシなどをご覧ください。

美術館講座

館長による講座を開催します。

ギャラリートーク

展覧会の担当学芸員が展示作品を解説します。

たのしみ

キッズルーム(7階)

木の砂場やおもちゃ、楽しい絵本などがあります。当館最上階からの眺めも最高です。(入場無料)



ミュージアムコンサート

5階中央ホールにて、いろいろなコンサートをお楽しみいただけます。



ハイビジョンギャラリー

ハイビジョンの美しい画像と音声で、作家や作品を紹介いたします。



セカンドスクールの利用

美術館で、本物に触れる体験をしてみませんか？
美術作品鑑賞の他、制作体験、館内探検などのプログラムをご用意しています。幼稚園、保育所、小・中学校、特別支援学校、高等学校など、全校種に対応しています。



ふれんどりーギャラリー

「美術館教室」の関連事業として、講師の作品を展示します。

「野崎文隆デザイン展」
4月18日(土) - 5月17日(日)

「草薙裕 写真展」(仮)
6月1日(月) - 7月5日(日)

「山田美知男 日本画展」(仮)
10月10日(土) - 11月23日(月・祝)



INFORMATION

観覧料	ミユシャ展	秋田蘭画展	大野源二郎展	ARTS&ROUTES (予定)
一般	1,200円	1,200円	500円	1,000円
高・大学生	800円	800円	大学生以下無料	高・大学生 500円
中学生以下無料	◎・① 半額	◎・① 半額	◎・① 半額	◎・① 半額
②	1,000円	1,000円	◎・② 450円	◎・② 800円
③	600円	600円		◎・③ 400円

※◎は20名以上の団体料金。②はシルバー料金(70歳以上)。③は障害者手帳をご提示の方の料金、④は障害者の介添1名までの料金。高・大学生は、学生証の提示が必要。詳しくは美術館へお問い合わせ下さい。

- 交通アクセス**
- バスで／JR横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、ふるさと村下車
 - お車で／秋田自動車道 横手インターより3分
 - 高速バスで／高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車徒歩10分
「横手インター入口」は、秋田行きは乗車のみ、湯沢行きは降車のみです

開館時間 午前9時30分～午後5時 (入館は4時30分まで)

休館日 年末休館/2020年12月29日(火)～12月31日(木)
メンテナンス休館/2021年1月13日(水)～1月22日(金)



秋田県立近代美術館

〒013-0064 横手市赤坂字富ヶ沢 62-46 (秋田ふるさと村内)
TEL: 0182-33-8855 FAX: 0182-33-8858
E-mail: akitamma@mac.ne.jp Twitter: @akitamma
美術館ホームページは「秋田県立近代美術館」で検索！
秋田ふるさと村ホームページは「秋田ふるさと村」で検索！